

# 令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：21019

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇本校独自のアンケートでは「授業は楽しく、分かりやすい」に関わる項目の児童の自己評価が9割近い肯定的な回答をしていることから、学ぶ楽しさや面白さを実感していることが成果として挙げられる。</p> <p>◇札幌市の共通指標では、「意見の違う人ともよく話し合おうとしている」に関わる児童の自己評価が8割以上の肯定的な回答をしていることから、協働的な学びを通して、学びを深めようとしていることが分かった。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の児童質問の結果から、「将来の夢や目標をもって」児童の割合が高い傾向にあることが明らかになった。</p>	<p>◇札幌市の共通指標において「自分の意見を進んで発言しようとしている子」が7割程度とここ数年低い傾向にあり、思いや考えを自ら発信できるようにしていく必要がある。</p> <p>◇本校の研究実践から、追究の目的が共有化されていないと、協働的に学ぶ必要感が弱くなってしまいうため、発達段階に応じた協働の姿を共有し、学びを深めるための具体的な手立てを探っていく必要があることが明らかになった。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の児童質問の結果から「自己肯定感」「人間関係づくり」「地域とのつながり」が比較的低い傾向にあることが分かった。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇本校独自のアンケートや全国学力・学習状況調査の児童質問などから、互いの考えや意見を伝え合い、学校生活をよりよくするために互いに支え合い自分のよさを生かして努力している傾向が明らかになった。一方で「自己肯定感」「人間関係づくり」「地域とのつながり」の側面からの課題が浮き彫りとなった。「全ては『やまなみスマイル』のために」を合言葉に、学校生活を基盤として仲間や地域とのつながりの更なる可能性を探り、「あったかハート」を育んでいく。</p>	

## 「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

### 「豊かな願いをもち、仲間との協働を通して願いを実現し、その経験をつなげる力」

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇研究主題「ねがいに満ち、仲間と学ぶ『やまなみっ子』の育成」の実現 →「子どもが学びの価値に気付き、よさを実感するための手立て」を授業づくりの重点とし、学びが次の学びや実生活に生きる原動力になるようなりフレキションの在り方の模索と検証 →「学びがつながる教材化」「学びが深まる教師の関わり」という視点から「主体性」を大切にしたい学びを実現するための効果的な手立ての検証 ◇6年間を通して「基礎学力の定着」「学習習慣の定着」した子の育成</p>	<p>◇互いの個性や多様性を尊重し合い、受容的、共感的理解を大切にし、自己肯定感や自己有用感を育む →いのちを大切にす指導の徹底、道徳教育の推進 →児童会活動やクラブ、しなのき活動における異学年交流活動の更なる推進 ◇自己や集団の成長を実感し、経験を次につなげるサイクルの構築 →運動会や学習発表会などの行事における自己や集団の目標の意識付け、他者評価を含めた振り返りの定着（キャリアパスポート等）</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇一人一台端末を「願い」を形にする道具として活用する。自分の考えを可視化し、仲間の多様な視点と即時に共有・比較することで、協働的な学びを深める。デジタル上の学習履歴を振り返り、次の挑戦へとつなげる主体的な学びを推進する。</p> <p>◇子どもの「願い」を引き出す授業デザインの中に、ICTを積極的に取り入れていくことができるよう、教職員の研鑽に努める。ICTを効果的に組み込んだ実践事例を共有し合い、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる指導力の向上を図る。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>



